

耕作放棄地解消活動

農委会名：熊本市農業委員会

1 地域の概要

熊本市は、県の中央部にあって、西北部は金峰山地、南部は河川流域、北部は台地、東部は阿蘇山地に囲まれている総面積390km²の都市である。有明海に注ぐ坪井川、白川、緑川の3水系の下流部に形成された熊本平野が広がり農作に大きな効果をもたらしている。

豊かな自然環境を活かして米、野菜、果樹、花き、畜産酪農等、多種多様な農産物の生産加工、農業経営がなされており高い生産販売額を誇っている。

2 農業委員会の体制

- (1) 農業委員数 24人（うち、認定19人、女性1人、中立1人）
- (2) 推進委員数 48人（うち、認定22人、女性0人）
- (3) 事務局体制 29人（専任29人）

3 掲げた目標

遊休農地解消面積 36ha

4 目標達成に向けた取組み（運動）の内容

県耕作放棄地有効利用促進事業の活用と被災地でマラソン大会を行っている都市と連携してヒマワリ栽培を、また委員会の独自活動としてタマネギ栽培を行った。



【ヒマワリ栽培】



【タマネギの収穫】

5 取組みの成果

県耕作放棄地有効利用促進事業 約2.7ha 解消

別紙様式①



【事業活動前】



【事業活動後】

6 課題と今後の方針等

増加傾向にある耕作放棄地解消については、今後の最適化推進活動において、農地集積・集約化促進と併せて重要な課題であることから、中間管理機構等を活用し、庁内各部署や農業委員等と連携を図りながら、農地の有効利用を進めていきたい。